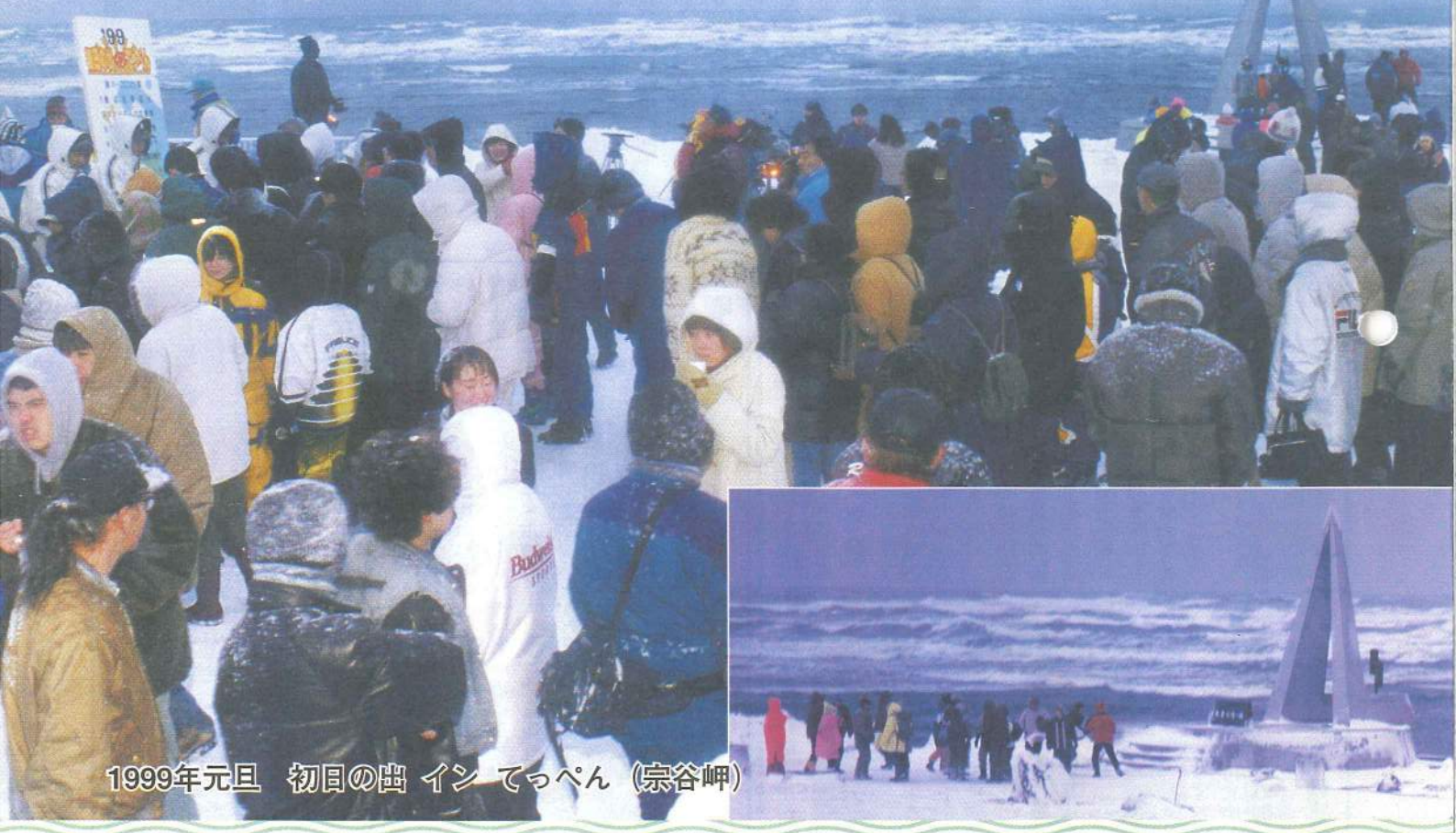
わっかない市議会だより

文字もカラー

平成11年2月1日
第87号

厳寒の
てっぺんの岬に集い
新たな年に望みを託す!



1999年元旦　初日の出 イン てっぺん（宗谷岬）

発行　稚内市議会
編集　編集委員会
電話　23-6161番（代表）
内線 281

十二月定例会 一般質問から

各会派を代表して6人の議員の一般質問が行われました。主な質問と答弁を紹介します。

社会クラブ 山田繁春議員

温泉ホテルの検討結果と今後の見通しについて

質問 富士見地区の温泉ホテル建設は、様々な角度から判断が必要であり需給関係の見通しをどう見るかが重要な判断材料と考えるが、❶現状需給関係の判断と今後の需給関係の予測は。❷民間による建設の検討と取組の経過及び結果は。❸第3セクターで建設すべき理由と管理運営は。❹民間企業が乗り出さないのは採算ラインに届く需要が見込めないためと考えられるが、❺再検討の結論と今後の作業計画は。これらについて、市長の見解を伺う。

答弁 ❶現在百名以上の収容能力のあるホテルは市内に8軒で、他のホテル、旅館及び民宿を含め最大約三千六百人の収容が可能であり年間の客室稼働率は33%である。収容能力が現状維持の場合、ほぼ同程度で推移すると考える。❷民間による建設を念頭に置き検討しているが、市内業者による建設投資は現段階では困難であり、今後道内外の民間資本を視野に入れリサーチする。❸今日の財政状況から、交付税措置のない起債を借りてまで宿泊施設建設に多額の市費を投入できる状況でなく、第3セクターの管理運営会社を設立し運営すべきと考える。❹年間四千万円程度の黒字としているが、収支については民間企業の経営実態を考慮に入れ検討する。❺再検討結果は1月半ば頃までに報告する。

市立病院の諸問題について

質問 ❶保険薬局によるシステムの違いについて各薬局は積極的に情報開示を行うべきと考えるが。❷救急外来の人的体制及び人工透析の体制充実策は。これらについて、市長の見解を伺う。

答弁 ❶保険薬局と協議し市民への周知を図っていく。❷通常の交替勤務への移行に向け、現在、内部検討している。臨床工学士等の医療スタッフの増員及び施設の充実という課題もあり、今後患者の動向を見ながら透析体制の充実に向け検討していく。

改善が求められる救急体制

真正クラブ 魚住光信議員

道路に関する諸問題について

質問 ❶街路灯・公共灯は交通の安全確保や防犯からも重要な役割を担っているが、破損箇所の対処と夜間パトロールの実施状況は。❷統一デザインの検討は。❸緑・富岡環状線の市道整備対策は。❹利礼通り拡幅事業に係る移転補償及び北防会館移転の対応は。これらについて、市長の見解を伺う。

答弁 ❶市道の公共灯は804灯、町内会の街路灯は約3千328灯設置しており、市の助成事業で随時補修している。また各地区の整備等

その他の質問事項

- 沖合底曳網漁業に対する支援について
- 宗谷畜産公社の経営見通しについて

一九九九年 年頭のあいさつ

議長 鈴木昭一

新年明けましておめでとうございます。

平成十一年の初春を、皆様とお迎えできましたことを心からお慶び申し上げます。

市民の皆様には、昨年一年間、議会活動に対し深い御理解と力強い御支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、開基百二十年・市制施行五十年・開港五十年の記念すべき年を迎え多種多彩の記念行事が行われ、幾多先人の方々のご苦労に対し、深甚なる感謝の念を捧げると共に、その不滅の業績を心から讃えました。

本年は、統一地方選挙を控えた重要な年であります。地方自治に携わる我々市議会は、激動する内外の諸情勢を見極め、変化への対応を誤ることのないよう普遍的かつ長期的視野に立ち、市民の負託に応える所存であります。

どうか市民の皆様、今後ともより一層の御支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、今年一年間、稚内市民の皆様が、御健勝で御活躍されますよう、心よりお祈り申し上げまして、年頭の御挨拶といたします。

就任にあたり

副議長 生田目幸男

市民の皆様には、平素より稚内市政の発展に特段の御協力を賜り、心から感謝申し上げます。

私はこの度、十二月臨時会におきまして、市議会の副議長に選任され、その重責を担うこととなりました。

もとより微力ではありますが、稚内市の発展と市民の幸せのため、誠心誠意努力いたす所存でございます。

市民を代表しております市議会といたしましては、『快適で心やすらぐ国際港湾都市の形成』を目指した市民総意によるまちづくりを進めるとともに直面する多くの課題に対して、粉骨砕身努力して参ります。

今後とも議会に課せられた使命を強く認識するとともに、市民の皆様の御支援をいただきながら、稚内発展のため議会活動を充実させて参ります。

結びになりますが、市民の皆様の御多幸を御祈念申し上げまして、就任にあたっての御挨拶といたします。

は一部道路の改修と併せて検討していくが、今後は夜間パトロールの強化等町内会と連携し維持管理に努めていく。❷デザインの統一は国の補助要綱の制約で困難と思わ

問われる街路灯整備充実策

れるが関係機関と協議し検討する。❸緊急を要する危険箇所は平成11年度に改修する計画である。❹北海道が施行する事業で物件補償・用地買収件数は17件となっている。交渉については、代替用地確保が最大の課題と考えられるため、市も積極的に取り組んでいく。また、北防会館は2町内会の役員等関係者と十分協議し進めていく。

私有財産、貸付、使用料滞納対策について

質問 ❶港湾用地使用料の滞納に対する徴収対策は。❷住宅使用料の多額未納者に対する対応策は。これらについて、市長の見解を伺う。

答弁 ❶現在、滞納者の経営状態を的確に把握し、滞納整理に努めているが、更に指導を強化し分納誓約等の支払い計画を提出させ厳しく対処していく。❷平成5年度より家賃徴収員1名を配置し、6年度には住宅管理システムの導入を図り、口座振替の奨励や分納誓約による計画的納入を推進し、悪質な滞納者には支払いに向けた民事調停、住宅の明け渡し請求等厳しく対処する。

その他の質問事項

- 幼児事故に対する危険地区対策について
- 稚内港内におけるロシア座礁船の処理問題について
- 稚内温泉（童夢）と宿泊施設について

日本共産党 斉藤信義議員

富士見地区宿泊施設建設について

質問 宿泊施設建設検討委員会が取りまとめた建設計画が新聞に報道され市民の間で話題になっているが、第3セクターの設立は市民生活にとって欠かせない公共性のあるものに限るべきであり、建設資金や今後の運営を考えると民間業者に委ねるべきと考えるが、市長の見解を伺う。

答弁 温泉地区のホテル建設は民間活力での実施を模索してきたところであり、これと平行して庁内に検討委員会を設置し建設する場合の諸問題を検討し現在に至っているが、いま暫く熟慮の時間を願いたい。

問われる富士見地区宿泊施設建設の考え方

市立病院について

質問 ❶平成10年11月から全診療科院外処方の実施に伴い外来待合室のスペースを利用し畳の部屋などくつろげる部屋を設置するなど改善策は考えられないか。❷検査目的の患者は現在予約制を取っているが、再診患者についても予約制を導入できないか。❸冬期間路面の凍結で危険となる病院前横断歩道のロードヒーティングの実現は。これらについて、市長の見解を伺う。

答弁 ❶現在の待合室は狭隘であり将来的に検討していく。❷現状の医師・医療スタッフ体制で予約診療が可能なのか医療事務部門を含めて検討しているが、今後実現に向けて検討したい。❸病院前の横断歩道のスベリ止め対策は、本年度春に関係機関に要望したが、現状では無理との回答があり、今後更に現実に向け強く要望する。

その他の質問事項

- 雇用対策について
- 貸し渋り対策について
- 安心して老後を過ごせる地域づくりについて
  (1)給食サービス
  (2)訪問歯科診療
  (3)住宅改造
  (4)小規模グループホーム
  (5)ボランティア活動
- 教育問題について
  (1)30人学級
  (2)パート職員
- 情報公開条例の制定について

公明党館農恒一議員

商品券について

質問 消費税2%に相当する4兆円商品券構想は地域振興券交付事業としてその一部が実現する運びとなった。経済企画庁が発表した国内総生産は年率2.6%減少、総務庁の家計調査でも前年同月1%減少で12ケ月連続の前年割れでこの特別減税も消費の押し上げには力不足であると考えるが、❶本市における対象人数と経済波及効果は。❷事務手続きや人員体制などの課題も多いが、早期実施のために12月議会に予算措置をとるべきと考えるが。❸今後この経験を生かし市独自の記念品などに商品券を活用すべきと考えるが。これらについて、市長の見解を伺う。

波及効果が期待される地域振興券

答弁 ❶本市における対象人数は、15歳以下の児童数約七千三百人、老齢福祉年金等の受給者約七百人、その他約三千人の合計一万一千人が対象となる見込みであり、その経済波及効果は二億二千万円プラスアルファが期待できる。❷北海道から詳細について説明が行われる予定であり、経費の内容、体制について検討後予算措置を行う。❸市としては地域振興券の実施状況をみて検討する。

ポリオワクチンの追加接種について

質問 通常2回の予防接種を受ければ免疫が得られるとして、生後三ケ月から一歳半の乳幼児に2回のワクチン接種が実施されている。厚生省は一昨年希望者に有料で追加接種を行うことなどを通

知した。本市の対象人数は十年度現在1,514名で九年度から現在までの再接種者は99名、わずか6.5%であった。接種料金が高額であることと啓発方法が不十分なことが低い再接種者数にとどまっている原因と考えるが、無料接種の実施について市長の見解を伺う。

答　弁　本市では、ワクチンの追加接種が任意で、希望者に昨年秋から有料で実施し、今後もさらにPRに努めながら有料で実施していく。

その他の質問事項

- 敦賀市政の継続について
- 富士見地区宿泊施設建設について
- サハリン対策について
  (1)サハリン定期航路
  (2)サハリン観光客受入れ体制
  (3)末広地区の交番設置
- 診療報酬改定について
- 友好都市の提携について

自民クラブ　河合慎一議員

国営農地防災事業の早期実現について

質　問　国営農地防災事業は、国が75%・道が25%・地元負担がゼロという地方自治体にとってはこれ以上の事業はないと断言でき、北海道では泥炭地帯型・火山性土壌等型・基幹土地改良施設防災型の3事業が適用となっている。本市の場合は泥炭地帯型の工法が考えられ、農業経営の安定と後継者の育成のためにも早急な事業展開が必要と思われ、市長自ら促進期成会の会長となって行動すべきと考えるが、市長の見解を伺う。

答　弁　北海道における同事業は平成5年度から実施されており、地元負担がなく国費以外は道費をもって対応されるため、事業採択の申込みも多く条件も厳しいものがあるが、平成12年度調査希望として要請中である。今後も早期に事業採択・実施がされるよう関係機関に強く働きかける必要があるとの判断から、促進期成会を設立し、稚内開発建設部に対し要請を行なっている。今後も、残された在任期間に全力を傾注していく。

鉄道の市街地踏切問題について

質　問　市街地の踏切については、大黒1丁目の通称弁天踏切や緑町の踏切・国立病院に至る病院通踏切等、交通渋滞が発生しており、中でも緑町踏切は朝の出勤時や夕方の帰宅時に大渋滞となっている。今後の将来計画として、どのように考えているのか、市長の見解を伺う。

答　弁　市内の各踏切、特に緑町の道々天塩線踏切については、温泉童夢の利用車両の増加等での交通渋滞は認識しており、この解消のため、天塩線と緑通りの交差部分の拡幅を行い解消に努めたが、3ヶ所の踏切を解消する鉄道高架・天北通りの早期整備のいずれかを行なわなければ根本的には解決できないと考えており、他の踏切と合わせ稚内土木現業所等の関係機関と十分協議し、交通渋滞の緩和を図っていきたい。

望まれる踏切の交通渋滞解消策

その他の質問事項

- 一九九九年度公共事業の見通しについて
- 国営沼川かんがい排水について
- マリンタウン2期計画の早期実現について
- 高規格道路稚内バイパスの早期着工の進展について
- 雇用問題について

民主党・市民会議　塩谷幹也議員

ゴミの減量化、再資源化における課題と今後の取り組みについて

質　問　平成9年6月からゴミの分別収集を実施し約1年半を経過しているが、❶ゴミ問題は市役所が率先して行なうべきでは。❷事業系ゴミは毎年増加してきているが、減量策として何か考えているか。また、資源分別モデル事業所の設置について考えているか。❸いつでもだれでも資源ゴミに限って出すことができる公共的なリサイクルステーションの設置は考えられないか。これらについて、市長の見解を伺う。

答　弁　❶ゴミの減量化やリサイクルを推進する限り、率先して市役所内部で実践しなければならないと認識しており、コピー用紙や缶・びん類等について分別収集を実施している。❷事業系ゴミについては、ガソリンスタンド等に協力してもらい47箇所で試行している。今後は事業者と十分協議を行いモデル事業所の拡大を図っていく。❸基本的には事業系ゴミは事業者の責任で処理するべきだが、公共的なリサイクルステーションの設置も選択肢の一つであると考え、検討していく。

望まれる資源ゴミリサイクルステーション設置

乳幼児保育について

質　問　本市では、平成9年度から白樺保育所において0歳児保育を開始しているが、❶平成9年度・10年度の入所数は。❷需要については潜在的な要素はあると考えるが、待機児童はいるのか。いる場合の解消策は。❸今後、乳幼児保育施設の充実・拡大は考えているか。これらについて、市長の見解を伺う。

答　弁　❶白樺保育所の乳幼児保育定員は、0歳児6名・1歳児12名だが、9年度は合わせて19名の保育を行なった。10年度は入所希望者が多いため、施設の一部を変更しながら0歳児15名・1歳児18名の合計33名を保育している。❷今後についても、少子社会に対応する支援や共働きに応えるよう、できるだけ待機児童をつくらないように努力していく。❸他の保育所での乳児保育の開設は、正職員の増員を含め入所希望者の推移をみながら検討していく。

その他の質問事項

- 救急医療について
- サハリン国際事業への総合的な取り組みについて

各特別委員会から

議案特別委員会では各会計補正予算、各条例案等の審査を、決算特別委員会では企業会計を除く各会計決算の審査をそれぞれ行いました。主な質問要旨を紹介します。

議案特別委員会

●定期的開催を要する報酬審議会を5年も招集しなかった理由と議員活動や議会改革実施状況の評価は。

●特別職報酬改定に係る審議会への諮問の際に、市長自ら諮問主旨・提案内容等を伝えた経緯は。

●全国の報酬実態・地域の実情と同審議会の答申内容との差異の捉え方は。

●類似都市・人口・議員活動等の資料提供に対する受け止め方と議員報酬改定への反映は。

●社会情勢に係わりなく2年サイクルで報酬審議会開催の決意は。

●東京直行便満席のため千歳経由での訪問客に対する助成措置検討の考えは。

●実質冬季観光対策化している東京直行便助成策に係る空港高度利用協議会補助金の理解し易い冬季観光対策費への組み替えの考えは。

●同助成策実施年限3年終了後に繋がる新規施策を講ずる考えは。

●東京直行便での数日滞在型のツアー企画を組んでもらう考えは。

●基本健康診査業務委託料減額補正理由と健康診断受診者増に繋がる方策は。

●各種イベント実施の際の平日・休日に携わる人的体制と歩くスキー等体験観光に対する対応の人手不足解消に向けた検討及び観光協会の主体的係わりは。

●東小学校区の学童保育所設置要望の経緯と取り組み状況は。

●生涯学習推進アドバイザーの人員数・配置箇所等の現況及び今後の増員・他の配置計画は。

決算特別委員会

●JR天北線バス通学定期運賃助成事業の目的と助成対象人員等の内容は。

●遠隔地からの市内下宿学生に対する行政支援の考えは。

●稚内公園道路のロードヒーティング化に向けた風力発電施設増設の考えは。

●稚内南極昭和基地構想可能性調査の実施結果と同構想に対する行政の取り組み姿勢は。

●行政支援を行っている団体の施設長の疑義を持たれる政治的言動に対する行政としての考えは。

●死亡獣蓄を無料で引き取る企業がある現状と道北操業株式会社設立主旨との狭間で苦慮している酪農業界に対する行政の係りは。

●馬鈴薯の国内需給率からみた馬鈴薯作付取り組みに対する行政の考えは。

●酪農経営にむけた飼料用穀物自給への試験的取り組みの考えは。

●ワイン製造残滓の家畜飼料への有効活用の考えは。

●サロベツ湿原森林づくり推進事業の内容と期待される成果は。

●除排雪後の路面のスベリ止め対策と除雪機械改良検討の考えは。

●除排雪技術向上に向けた行政指導を徹底する考えは。

●遊休民地を利用した排雪一時仮置場の設置による効率的除排雪体制への取り組みの考えは。

●景観・防犯対策を含め、快適な暮らしやすいまちづくりにむけた街路灯整備計画策定への取り組みの考えは。

●プレジャーボートの係留地の確保要望や釣り愛好者からの北防ドーム地先堤防の開放要請等海洋レジャーに係る要望に対する行政の取り組み状況は。

●財政調査基金・減債基金の積立て目的及び目的主旨を踏まえた適正な運用は。

●国民健康保険税の収入率低迷状況と保険税率引き上げ見通しは。

採択された請願及び要望意見書

北海道開発庁の統合に関わる請願及び要望意見書

中央省庁の改革については、平成10年6月に基本法が公布され、中央省庁推進本部が発足し関係法の整備が行なわれているが、地方分権の主旨を踏まえ、地域の自主性・主体性を尊重する北海道開発の方向性が明確にされることを求める。

稚内市の子どもたちにゆきとどいた教育を保障する請願及び要望意見書

各学校では、今よりもっとわかる授業・楽しい学校づくりを進め、いじめや暴力などを許さない自立の力が子どもの心に育つよう努力しなければならないと考える。しかし、今日の教育荒廃は学校や家庭の努力だけでは克服できない社会現象にまでなっていることから、教員定数の改善、学習指導要領の抜本的改善等を求める。

道路特定財源等に関する要望意見書

北海道の道路整備は未だ十分とはいえず、自動車交通の依存度が高い各地の地域振興や社会活動の活性化を図る上で道路網の整備が重要である。ついては、受益者負担、原因者負担の考え方に基づく道路特定財源制度の堅持と地方の道路財源の充実強化を求める。

地方事務官の地方公務員への身分移管を求める要望意見書

政府は、地方分権に関する施策の推進を図るため地方分権推進計画を策定した。その中で、地方事務官制度の廃止と中央政府への事務・身分の一元化は年金サービスの向上及び信頼確保のため改革を図る必要がある。したがって法制化にあたっては地方事務官の国への一元化に伴う事務の円滑な執行の障害や住民サービスの低下等の問題と市町村の事務負担の軽減・職員の処遇内容の改善を要望する。

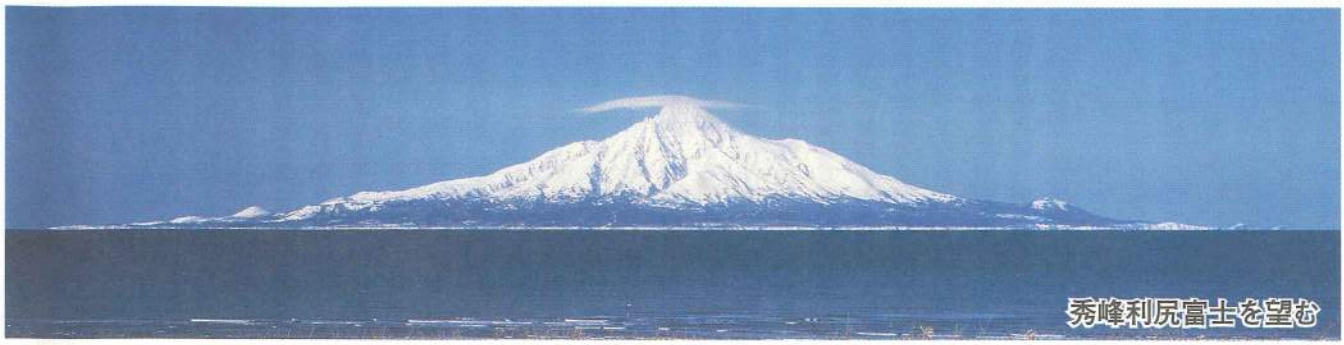
介護保険法の実施に関する要望意見書

平成12年度から実施される介護保険制度は、介護保険法の成立以降、その制度内容が明らかになるとともに現状の内容では同制度を円滑に導入・実施することは困難であることが明白になった。したがって、介護保険制度の円滑な実施が図られることを要望する。

議会を傍聴しませんか

☆手続きは簡単です☆

◆お問い合せは
議会事務局
(☎23−6161・内線281)まで



秀峰利尻富士を望む

本会議と各委員の出欠状況

区分／議員名	席数・出すべき日数（本会議・各委員会）	出席日数	欠席日数	区分／議員名	席数・出すべき日数（本会議・各委員会）	出席日数	欠席日数
石塚　公次	9		9（病）	中井淳之助	19	19	
小川　文三	14	14		生田目幸男	11	10	1（私）
河合　慎一	13	13		藤沢　勉	14	14	
河野　至緒	10	10		越後谷亮一	12	12	
小林侃四郎	12	12		川村　広八	21	21	
菅原　清治	8	8		館農　恒一	10	10	
竹村　海一	9	8	1（私）	熊谷　れい	10	10	
田森　和文	15	15		斉藤　信義	20	20	
前田　修悦	20	18	2（私）	藤谷　良幸	20	20	
鈴木　昭一	14	12	2（公）	山田　繁春	9	8	1（私）
岡谷　繁勝	14	14		魚住　光信	12	12	
坂本　喜好	10	10		杉本　鯉一	20	20	
塩谷　幹也	20	20					

注：(1)出席すべき日数は、11月１日から１月31日までの状況。
(2)欠席日数欄中(公)は公用、(私)は私用、(病)は病気の意味。

議会日誌

11月

4・大川市議会議員来局
5・北海道市議会議長会臨時総会（札幌市）
18・**総務常任委員会**
20・稚内市・利礼三町議会議員交流会要請行動
24・**議会運営委員会**・各会派代表者会議
25・**建設常任委員会**
26・**民生文教常任委員会**
27・**産業経済常任委員会**・サハリン調査特別委員会
30・**第５回定例会本会議**・**議会運営委員会**・決算特別委員会・図書室運営委員会

12月

3・**本会議（一般質問・ナイター）**
4・**本会議（一般質問・ナイター）**・**議会運営委員会**
7・決算特別委員会
8・決算特別委員会
9・**議会運営委員会**・議案特別委員会
10・**議会運営委員会**・議案特別委員会
11・**本会議**
14・**総務常任委員会**
17・**議会運営委員会**・各会派代表者会議
18・消防議会
21・**民生文教常任委員会**
28・**第６回臨時会本会議**・**議会運営委員会**

１月

6・御用始め
13・**第１回臨時会本会議**・**議会運営委員会**・議案特別委員会・議会だより編集委員会・各会派代表者会議
25・議会だより編集委員会
26・東京都三宅村議会議員来局
28・北海道市議会議長会道北支部臨時議長会（旭川市）
29・**総務常任委員会**

３月定例会の日程

1日 **本会議**
・一般行政報告
・予算・条例・単行議案・新年度予算の上程
補正予算特別委員会
2日 **本会議**
議案特別委員会
・予算・条例・単行議案・新年度予算の審査
3日 **議案特別委員会**
4日 **議案特別委員会**
5日 **本会議**
本会議は５階議場で、各特別委員会は５階正庁の間で開きます。

編集後記

早いもので、４月には議会も改選期を迎えます。21世紀も目前に迫っており、議会の内外を問わず全世界の人々も来世紀に希望を抱いています。

21世紀を展望するとき、我々の生まれ育った20世紀がどんな時代であったかを顧み、そこから教訓をくみとることが大切です。

今世紀は全人類にとって、民族の独立、民主々義、科学の限りない発展などによって、社会生活を大きく飛躍させました。その反面、人類にとって苦しい戦争や他国の支配下におかれる苦い体験もあり、そして今もなお民族間や他国間の紛争が起きています。

日本最北端の小さな市議会でありますが、世界平和と、人類史の発展に寄与するために努力する決意です。

（編集委員Ｎ・Ｓ）

休刊のお知らせ

５月の市議会だよりは、
休刊させて頂きます。
次回は８月発行の予定です。